

編集 後記

年頭に当たって編集委員会を代表し日本生理学会会員の皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。2001年が皆様にとって良い年であり、ご研究に一層の発展がありますことを祈念いたします。

ご覧のように今号から日生誌は衣替えを致しました。これまで製作を担当されてきた鶴岡印刷には厚く御礼を申し上げます。このたび、杏林舎に製作していただくことになり、これを機にデザイン、レイアウトを一新いたしました。今後は生理学会事務所とも密接な連携のもとで遅れない発行を実現してもらおうと考えております。

学会ホームページは学会誌と共に学会から会員への情報伝達手段であるだけでなく、会員以外の一般の方に対しては生理学会の顔でもあります。このような認識の上に立って、これからの生理学会ホームページをどのようなものにし、どのように運営していくかを検討するため、学会HP小委員会を発足させることになりました。どうか会員の皆さんからも建設的なご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

本郷庶務幹事の巻頭言にもありますように、今年には日本生理学会においても新たな出発の年にな

りそうです。また、そうしなければなりません。12月上旬に行われた常任幹事会においても、生理学会が「停滞から前進へ」の変革を遂げるためには何をすればよいかについて活発な議論が行われました。その模様については次号でお知らせできると思います。また、京都の大会でもそのような議論をする場が設けられると伺っております。どうかこうした機会を捕らえて会員の一人一人が生理学と生理学会の将来を考えてくださいますようお願いいたします。

本号にはさきに生理学会女性研究者の会が行った生理学会に所属する女性会員に対するアンケート調査の結果がまとめられています。出産・育児と研究をどのように両立させていくか、そのためにはどのような支援が求められているのかなど、データが冷静に現状を示していると思われま。また、東北大学の山本、中尾両先生が「バイオインフォマティクスと生理学」に関する考え方を示されています。新しいパラダイムをどのように捉えていくか、これも21世紀の課題として考えてみたいと思います。

(金子章道)

*編集執行委員

編集委員

*金子 章道 (編集幹事) (感覚)	青木 藩 (呼吸)
小野田法彦 (感覚)	河南 洋 (自律神経, 内分泌)
*工藤 典雄 (運動, 発生・成長・老化)	窪田 隆裕 (腎・体液)
黒島 晟汎 (環境)	小西 真人 (筋)
佐久間康夫 (生殖)	*佐々木成人 (運動)
高田 明和 (血液)	菅屋 潤壹 (栄養・代謝・体温)
*高松 研 (神経化学)	土居 勝彦 (心臓・循環)
*中島 祥夫 (運動)	成瀬 達 (消化・吸収)
*入來 篤史 (感覚, 運動, 高次中枢)	*川上 順子 (感覚)
辻岡 克彦 (循環)	福田 淳 (感覚, 高次中枢)
村上 政隆 (膜輸送)	吉岡 利忠 (体力)
小山 なつ (HP担当)	

日本生理学会事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル
TEL：03-3815-1624 FAX：03-3815-1603 (勤務時間10：30～18：30)
E-mail：psj@qa2.so-net.ne.jp
URL：http://wwwsoc.naccis.ac.jp/psj/